

TOPOPHILE

夢想の空間

人間の存在はなんという螺旋であることか！

Quelle spirale que l'être de l'homme !



THE UNIVERSITY OF TOKYO



BLOG QR 110720-0730



【予約】
予約優先となります。観覧希望日の前日までメールにて受付。詳細は本展ブログをご覧下さい。
Blog: <http://d.hatena.ne.jp/bacardi2011/>
Email: topophile@gmail.com

*予約なしでもご入場いただけますが、観覧時にはお待ちいただく場合がございます。

【主催】東京大学 大学院 総合文化研究科
超越文化科学専攻 表象文化論コース
表象文化論実験実習Ⅰ（田中純教授）ゼミ生一同
【協力】東京大学 駒場博物館

小さな貝殻を手に取りじっと眺める、あるいは抽出をそっと開けてみる。そのとき、私たちの意識は内部へといざなわれ、想像力は無限に広がっていく。それは集中と拡散を繰り返す意識の円運動だ。

フランスの哲学者ガストン・バシュラール（1884-1962）が『空間の詩学』（1957）のなかで述べるのは、そのような内密の空間においてはたらく人間の夢想である。彼はそれを「トポフィリ（場所への愛）」と呼ぶ。想像の世界をあるひとつの事実として生きたとき、私たちの想像力は現実を凌駕していく。

午前11時～午後5時30分（入場は午後5時まで）
時計台（8階）内部空間及びそこに通じる螺旋階段
【所在地】アカセス 東京都目黒区駒場3-8-1
駒場東大前駅（京王井の原駅）東口より徒歩3分
正門入って正面1号館時計台
【特別出品】五十音順
内林武史
高田安規子・政子
谷本光隆
びん博士

*本展覧会の展示物、及び空間構成はゼミ生一同によるものですが、この展示企画ご賛同くださった作家にも作品出品のご協力をいただいております。

【観覧料金】無料

2011年7月20日～30日 [土] *休館日26日[火]